

あいづわかまつこどもプラン（改訂版）会津若松市次世代育成支援  
行動計画（後期）素案への意見募集結果

募集方法及び結果

1. 募集期間 平成22年2月5日（金）～平成22年3月4日（木）
2. 提出方法 持参（1件）、電子メール（9件）
3. 意見件数 10件（2人）
4. 意見の要旨と市の考え方

No.	意見に係る 指摘箇所	意見の要旨	市の考え方
1	P 6 2 少子化の 要因と影響	国レベルの事だけでは、よそ事にも思える。会津若松市の今後の課題や現状認識をもう少し分析して書いて頂きたい。	当計画は、行政・地域・企業が一体となって総合的に次世代育成支援対策を行うために、国全体として取り組むことが前提となっているため、まず、国全体のことを記載し、本市の現状については、グラフを用いて具体的に説明させていただいたものです。
2	P 10 3 計画の基本的な考え方と位置付け	少子化対策で含まれる具体的な展開の記入が無い。各種個別計画等の柱との整合性を具体的に示してほしい。	ここでは、計画の基本的な考え方と位置づけを示したものであり、具体的に整合性を整理したものではありません。計画を推進する中で整合性を図っていくこととなります。 なお、計画の位置付けについて、図を追加いたします。
3	P 13 1 基本理念	子どもは、地域の宝である事をもう少し訴え子育て支援に参画だけでは、言葉足らずである。	ご意見の趣旨を踏まえ、下記のとおり加筆しました。 <u>「また、子どもは、地域の宝です。すべての子どもが健やかに育つためには、地域みんなで子どもの育ちを支えていくことが必要です。子育て世代の夫婦を始め、若い人々が子育てに希望を見出し、」</u>
4	P 13 基本目標Ⅱ	子育ても喜びと感ずる親を育てる事も大切なのでは、と思います。	子育てしやすい環境づくりをすることで、より子育てに喜びを感じることができると考えます。
5	P 14 3 目標事業量	幼稚園を含めたサポートが目標とされていないのではないのでしょうか。	目標事業量は、国の行動計画策定指針で定められた事業について設定するものです。幼稚園にかかるものについては、「保育6サービス」の中に、幼稚園の預かり保育が含まれています。

No.	意見に係る 指摘箇所	意見の要旨	市の考え方
6	P17～ 第3章 基本施策	取り組み内容について 子育ての大切さを学ぶ場の創設	子育ての大切さを学ぶ場については、23ページの「(3)子育て支援施設を拠点とした子育て支援」、29ページの「(2)子育て家庭への相談の充実・家庭の教育力の向上」で取り組みます。 また、子ども向けにも、46ページの「(1)幼児とふれあう機会の提供」で取り組みます。
7	P17～ 第3章 基本施策	次世代育成支援に対し、沢山の取り組み、ありがたく思っております。子育て当事者である私たち保護者にとって一日も早く実現したい内容です。みんなが関心を持ち、参加するようにするには、具体的な目標が必要だと思います。現状「継続」、目標「継続」では、どのような参加をすれば良いのかわかりづらいついて感じております。 会津若松市だけでは解決できない問題も沢山あるかと思いますが、みんなで次世代育成支援に取り組んで行きたいと思っております。	取り組みごとの現状と目標については、数値目標を設定することを基本としておりますが、数値目標を設定できないものについては、「継続」、「拡大」、「実施」などの表記とさせていただいたところであります。 計画の推進にあたりましては、関係機関との連携を図り、市民の皆様との協働により取り組んでまいります。
8	P19 基本施策1	負担感だけでなく子育ての魅力はどう分かち合うかの視点も大切なのではないかと。	ご意見の趣旨を踏まえ、下記のとおり加筆しました。 「子どもの健やかな成長のために、 <u>男女がともに子育ての責任を果たしつつ、子育ての喜びを感じ、分かち合うことができるよう協力して子育てをする意識を高めるとともに、</u> 」
9	P23 (3) 子育て支援施設を拠点とした子育て支援	サークル支援が重要視され保育所や幼稚園の子育て支援のネットワーク化が遅れているような気がします。	保育所と幼稚園の連携につきましては、52ページの「幼児教育振興プログラム進行管理」の中で検討して参ります。
10	P32 (4) 放課後児童健全育成事業の充実	待機児童の解消だけでなく、学童の必要な環境整備をしなければならぬ事が急務であることを認識して下さい。	ご意見の趣旨を踏まえ、下記のとおり加筆しました。 「共働き家庭の増加に伴い、ますます需要が高まることが予想されることから、 <u>待機児童の解消を始め、さらなる環境整備に努めます。</u> 」